

映像記録型ドライブレコーダー

Witness I

取り扱いガイド

はじめに

この度は車載カメラ「Witness」をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本製品は運転者のもう一つの「目」という役割を果たします。万が一事故の際には記録された画像を解析することにより事故を科学的に立証することができます。
このことは常に安全運転を心がけているドライバーにとっては安心感が生まれ、交通戦争と呼ばれている現代社会の中での味方になります。本製品を安全にご使用頂き、今後とも一層の安全運転にお心がけ頂ければ幸いです。

必ずお読み下さい

Witnessは交通事故を客観的に自動画像記録することを目的とした車載カメラですが、全ての交通事故の記録が出来る事を補償した商品ではありません。万が一、映像が記録されなかった場合や、記録したデータが破損した場合などについては、弊社は一切責任を負いません。

以下のケースなどで交通事故が画像記録されないことがあります。

- i 車体自体は大きく変形していても、車内の衝撃が非常に小さい場合
(車のボディーは大きな衝撃から車内の人を守る為、衝撃を吸収する構造・素材で出来ています。)
- ii 大きな事故で、電源の供給が途絶えた場合
- iii 本体が作動していなかった場合(エンジン始動時に、Witness本体の作動音が「ピッ!」と鳴ることを確認して下さい。)
- iv 本体にCFカードが、備られていなかった場合
- v データを記録している最中に新たにイベントが発生した場合

目 次

1. 安全の為に必ずお守り下さい。	3
2. 各部の名称と働き	5
3. Witnessの動作	6
4. 警告音の種類	6
5. CFカードの取り扱い方	7
6. Q&A	8
7. お問い合わせ先	9

安全のために必ずお守り下さい

- ご使用前にこの「安全の為に必ずお守りください」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
- ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の方々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 本文中の「本製品」とは、車載カメラWitness I 本体および配線ケーブルをさします。

警 告

- 実際の交通規制に従って運転して下さい。必ず道路標識など実際の規制に従って運転して下さい。故意に交通事故を招くような運転は決して行わないで下さい。
- 本製品は、所定の位置に正しく取り付けただで使用して下さい。誤った取り付けをされると製品が正しく作動しないだけでなく、運転の支障となったり、運転中に製品が落下する可能性があります。
- 運転者は走行中に本製品の角度調節などを行わないで下さい。前方不注意となり交通事故の原因となります。
- 停止中に本製品を移動させておくために、車庫や屋内など喚起の悪いところでエンジンをかけたままにしないで下さい。車内に排気ガスが侵入し、一酸化中毒の恐れがあります。
- 本製品を分解、改造しないで下さい。感電する原因となります。点検・修理は購入店、または弊社にご依頼下さい。
- お子様の手の届かないところに保管して下さい。お子様が誤って本機器を破損すると危険です。また、コードを首に巻きつけると窒息することがあります。
- 煙が出ている、焦げ臭いなどの異常状態のまま使用しないで下さい。火災、感電の原因となります。すぐに本体を取り外し、購入店または弊社ご連絡下さい。
- 本製品に水などを入れたり、濡らしたりしないで下さい。本製品には防水処理が施されていません。水滴がかかったときはすぐに吸水性のある柔らかい布で拭いて下さい。
- Witness I 本体もしくは、配線ケーブルが他の装置に影響を及ぼすことがあります。
- お手入れのときは、アルコール・ベンジン・シンナーなどの引火性溶剤は使用しないで下さい。火災の原因となります。
- ケーブルを傷つけたり破損したりしないで下さい。また、配線のときはケーブルに負担がかからないように配線して下さい。漏電して、火災・感電の原因となります。
- 塗れた手で配線しないで下さい。感電の原因となります。
- DC12V以外の電源を使用しないで下さい。火災・感電の原因となります。
- 本製品に火を近づけたり、火の中に投げ込んだりしないで下さい。また、水の中に入れたりしないで下さい。火災・ケガの原因となります。
- キーホルダーなどの貴金属類で配線の「+」と「-」を接触(ショート)させないで下さい。発熱し、やけど・ケガの原因となります。

注 意

- 本製品を落下させたり強い衝撃を与えたりしないで下さい。故障や火災の原因となることがあります。
- 本製品に異物を入れないで下さい。部品のショートなどにより火災の原因となることがあります。
- エンジンを止めた状態(アクセサリON)で長時間使用しないで下さい。バッテリーが消耗し、エンジンがかからなくなることがあります。
- 極端に高温・低温になる場所に放置しないで下さい。夏季に長時間日光のあたる場所や極端に低温な場所に放置すると、変形・故障の原因となることがあります。
- 本製品を取り外すときは、必ず電源を切ってから取り外して下さい。電源が入ったまま取り外すと、故障の原因となります。
- 汚れたコンパクトフラッシュカード(以後、CFカード)は使用しないで下さい。砂やほこり、水などの液体をかぶったCFカードを使用すると、故障の原因となります。
- 電源ケーブルが運転者の視界や運転の妨げとならないように整理して下さい。

製品使用上の注意

- CFカードの抜き差しの際には、必ずエンジンキーを抜いた状態で抜き差しを行ってください。特に、CFカードを取り出す際にはエンジンキーをOFFにした後1分以上経ってからCFカードを取り出して下さい。
- CFカードへのアクセス中にCFカードの抜き差しを行わないで下さい。データが破損するだけではなく、故障の原因となる可能性があります。
- CFカードは指定した方向へ正しく入れて下さい。無理に誤った方向に入れた場合、CFカードやCFカードスロットが破損し、故障の原因となります。
- CFカードは指定した向きで挿入して下さい。表裏を逆に挿入されますと故障の原因となります。
- CFカード差込スロットへ、CFカード以外のものを入れないで下さい。故障の原因となる可能性があります。
- 配線ケーブルが車両の金属部でこすれたり、可動部(シートレールなど)に挟み込まれないように注意して下さい。故障の原因となる可能性があります。
- CFカードを強引に差し込まないで下さい。故障の原因となる可能性があります。
- CFカードの抜き差しの際には、本製品の取り付け支持部に負荷がかからないようにして下さい。破損の原因となる可能性があります。
- 走行中に本製品が落下などしないよう取り付けて下さい。万が一に備えて、同封の配線留具でケーブルを固定するなどして下さい。

各部の名称と働き



1 本体

カメラの機能を果たす本体部です。

2 吸盤

本体をフロントガラスへ取り付けるために使用するシリコン製吸盤です。

3 クランプ

本体のブレや傾きを防ぐためのクランプです。

4 レンズ

日中・夜間・逆光を問わずに画像を記録するために開発した特殊レンズです。

5 CF(コンパクトフラッシュ)カード

取得データを記録するための媒体です。



6 ビデオ出力

NTSC信号出力端子です。Witnessが撮影中の映像を出力しています。

7 CF差込スロット

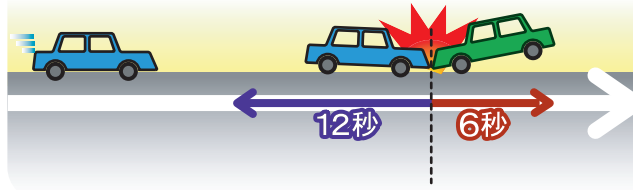
CFカードを差し込むスロットです。

8 配線ケーブル

車両と接続するためのケーブルです。

Witnessの動作

Witnessは、ある一定の衝撃が車体に加わると、「ピピッ！」と本体から音がでます。その衝撃を起点として、前12秒後6秒の計18秒の画像データを自動記録します。



備え付けのCFカード64MBで、10件のデータを記録します。また、11件目のデータを取得した場合は、最も古いデータに上書きを行い保存されます。以降、一番古いデータに順次上書きされます。

取得データは同梱のシンプルビューワにて閲覧していただくことができます。

警告音の種類

- **ピッ！** : 起動確認音

正常起動した際に発せられます。

- **ピピッ！** : 画像取得音

衝撃を感知した瞬間に発せられます。

- **ピーー！** : CFカードエラー警告音

CFカードに何らかのエラーがあった場合に発せられます。

異常の原因は次のものが考えられます。

- ① CFカードが差し込まれていない。
- ② CFカードの差し込みが不十分。
- ③ CFカードに異常がある。

異常原因を確認後、再度キーをONして下さい。再度警告音が発せられる場合は購入店か弊社へご連絡下さい。

- **ピーピッ！** : CFカードエラー警告音

電源ケーブルのイグニッションラインが接触不良を起こしている可能性があります。取り付け元へ配線の確認をご依頼下さい。

CFカードの取り扱い方

1. 本体からCFカードを取り出すとき

- ① イグニッションキーをOFFにします。
- ② 1分以上の経過を確認します。
- ③ CFカードの取っ手を持って取り出します。

本製品はイグニッションキーがOFFになった後も、データを記録している場合があります。この最中にCFカードを取り出してしまうと、データの破損につながるだけでなく、CFカードの破損につながります。必ずイグニッションキーをOFFにした後、1分以上の経過を確認してからCFカードを取り出して下さい。

2. CFカードを本体へ装着するとき

- ① イグニッションキーがOFFになっていることを確認します。
- ② CFカードの向きを確認します。
- ③ CFカードの取っ手を持ってCF差込スロットへ差し込みます。

CFカードは正しい向きで差し込んで下さい。車載状態ではCFカード表面のカラー印刷面(または、取っ手の矢印マーク「↓」)が運転者に見える向きで差し込んで下さい。

誤った向きでの差し込みは出来ないようになっていますが、強引に差し込まれると本体が破損します。差し込み時に抵抗を感じられた場合は無理に差し込まないで下さい。

CFカードを抜き差しする際は、クランプを緩めて本体の吸盤支持部に負荷がかからないようにして下さい。



CFカードの差し込み方向

3. CFカードに異常が確認されたとき

CFカードに何らかの異常が生じた場合、本体のスピーカーから1分間「ピーー」とエラー音を発します。1分後、エラー音は止まりますがデータの取得・記録は行われません。その際には、イグニッションキーをOFFにした後、1分間の経過を確認して、CFカードを差し込みなおすか、新しいCFカードと交換して下さい。

Witness本体の備え付けメモリーカードは、専用メモリーカードとなっています。1年を目処に交換をして頂くようお願いいたします。

Q&A

- Q. 走行中、段差を乗り越えたときなどに本体から「ピピッ！」っと、音がなるけど問題があるの？
- A. 走行中、道路の状況（路面の段差、砂利道など）による衝撃を感知してデータを取得することがあります。事故の取りこぼしを防ぐために、ある程度の衝撃も感知するようにしていますので、問題はありません。
- Q. 本体の取り付けは自分で出来るの？
- A. 本体の取り付けは、お近くの車両整備工場などにご依頼下さい。その際には、同梱されている「取り付けして頂く方へ」の資料をお渡し下さい。
- Q. 本体からCFカードを取り出したけど、パソコンにデータをどうやって転送するの？
- A. CFデータをパソコンに転送するには、CFカードリーダーが別途必要です。Witnessをご購入されたお店にてお買い求め下さい。
- Q. シンプルビューワの使い方は？
- A. シンプルビューワに備え付けの説明書・注意事項を参照して下さい。または、弊社ホームページの「シンプルビューワの取り扱いについて」を確認して下さい。
- Q. もっと記録件数を増やしたい
- A. 標準の64MBCFカードでの記録件数は10件です。取得件数を増やしたい場合は、オプションで128MBの専用CFカードを扱っています（画像データは20件記録）。詳細につきましては、購入店、あるいは弊社までお問い合わせ下さい。
- Q. 好きな時に画像が取れるスイッチはないの？
- A. スイッチなどはありません。全て自動で画像データ取得を行います。万が一、画像取得にいたらなかった場合には、本体の端を少し強めに指で押し出し、本体を揺らして下さい。その衝撃を感知し、画像を取得します。（注：運転中には決して行わないで下さい。本体を強く叩かないで下さい。）
- Q. 車検のとき問題はないの？
- A. 本体取り付け後の車検について、保安基準等の問題はありません。万が一、問題がありましたら、お手数ではございますが、弊社までお問い合わせ下さい。
- Q. 動作確認の方法は？
- A. 本体から発せられる「音」で、動作の確認をします。エンジンをONにした後、正常に作動していれば本体から「ピッ」と1回音がします。
- Q. 搭載車を換えるときには？
- A. 本体はそのまま再度配線をしてご利用になれます。本体の付け替えを行う際は、専用吸盤を購入していただき、新しい車両に取り付けて下さい。専用吸盤のご購入につきましては、購入店にお問い合わせ下さい。

Q&A

Q. 事故が起きた場合はどうすればいいの？

A. 人命救助を優先し、警察、任意の保険会社へ連絡をして下さい。ドライブレコーダーを付けている旨を、駆けつけた警察もしくは保険会社の方へ伝えて下さい。(詳細は弊社ホームページの「Witness I を購入して頂いた皆様へ」を確認下さい)

Q. 本体から「ピーーッ！」という音がなりっぱなし

A. CFカードが差し込まれているか確認して下さい。CFカードが差し込まれていないと警告音を発し、CFカードの差し忘れを知らせます。また、CFカードの差し込みが不十分な場合も同様に警告音を発します。しっかり奥までCFカードが差し込まれていることを確認して下さい。

なお、CFカードが問題なく差し込まれているのに警告音を発する場合は、本体に不具合が発生している可能性があります。お手数ではございますが、保証書をご用意していただき、購入店に修理のご依頼をお願いいたします。
CFカードの抜き差しを行う際は、キーを抜いた状態で行って下さい。本体もしくは、CFカードの故障・破損の原因になります。

Q. 事故の画像が記録されていなかった場合はどうするの？

A. 事故の起きた原因・過程を、覚えている限り警察もしくは保険会社の方に伝えて下さい。万が一、その事故が裁判等に発展した場合は、保険会社、弁護士等を通して弊社にご連絡下さい。その交通事故の実況見分調書等の資料をもとに交通事故の工学鑑定が可能かどうかの判断をさせていただきます。(工学鑑定をする場合、鑑定費用が発生します。)

お問い合わせ先

株式会社 日本交通事故鑑識研究所

〒144-0051 東京都大田区西蒲田7-43-1 サンライズⅢビル 5F

TEL : 03-5703-0028 (平日 13:00 ~ 17:00)

FAX : 03-3732-9404

MAIL : info@nikkouken.com

弊社ホームページ : <http://www.nikkouken.com>

ホームページにも最新情報やよくあるお問い合わせなど
サポート情報を掲載しております。是非ご覧下さい。

弊社におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

お客様よりお知らせいただきましたお客様の指名・住所などの個人情報は、お客様からの弊社製品へのご相談及び修理対応などに利用させて頂き、これらの目的以外に利用することはありません。

Witness I 保証書

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記保証期間中に、取扱説明書等の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。

- 保証期間中でも次のような場合には有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または破損。
 - お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、輸送等による故障または破損。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天変地異、異常電圧・公害・煙害・ガス害、その他の外的要因による故障または破損。
 - 取扱説明書に記載されている使用条件以外で使用したときの故障または破損。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
 - 消耗部品の交換・仕様変更など。
- 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付されたときの送料や出張修理を行ったときの出張料はお客様のご負担となります。
- ご転居の際には、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼にできない場合には、弊社にお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

お買い上げ日	年 月 日
製品番号	
保証期間	お買い上げ日より1年間 (事故に遭遇した車両に取り付けられていた場合を除く)
お客様	お名前 ご住所 〒 電話番号
販売店	店名 ご住所 〒 電話番号

映像記録型ドライブレコーダー

Witness取り扱いガイド

発行：第2版 2006年8月

株式会社 日本交通事故鑑識研究所